

## 令和元年度・2年度(2019・2020年度)理事会のポイント(第1回から第19回理事会)

### 第1回 令和元年(2019年)6月30日理事会

(主な議案)

- ・総会での理事承認を受けて、第1回理事会を開催し、代表理事(会長)として太田雄貴を選任(再任)しました。

以上

### 第2回 令和元年7月13日理事会

(主な議案)

- ・協会事務局の移転について、以下の通り承認しました。

主たる事務所移転先: 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

移転の時期: 令和元年7月13日

- ・役付理事任命について、以下の通り承認しました。

副会長	山本 正秀
	齊田 守
	末松 英司
専務理事	宮脇 信介
常務理事	佐藤 衛
	飯田 徳光
	福田 佑輔
	浅井 直樹
	蕭 敬如

- ・登録遅延料(登録規定第7条第2項)について審議しました。本年については既に登録遅延料を請求すべき期間に入っていることにくわえて、その水準についてはさらに議論が必要との意見が大勢を占めたことから、本年は登録遅延料を徴収しないこととするとともに、来年度以降の登録遅延料の取扱いについては継続審議としました。

(主な協議事項)

- ・協会組織構成の件: 当協会の組織体制について議論しました。
- ・日本フェンシング協会殿堂入り創設の件: 当協会に長年に亘り貢献された方を表彰し殿堂入りさせるという構想について議論しました。
- ・協会メールアドレスの取り扱いの件: 当協会のメールアドレス管理の方法について議論しました。

(主な報告事項)

- ・学校訪問の件
- ・2020委員会第2回議事録およびDT業務報告の件

以上

### 第3回 令和元年8月25日理事会

(主な議案)

- ・協会組織構成について審議しました。一部修正を加えて、他は原案どおりでこれを承認しました。詳細はホームページに掲示致します。
- ・委員会運営規程について審議しました。内容について、さらに吟味すべきとして、継続審議することとなりました。
- ・協会が競技会について後援・協賛・主催等に関する規則について審議しました。後援・協賛・主催を認可する場合の条件や、主催する場合の条件を明確とすべきとの意見が出され、継続審議することとなりました。
- ・当協会が新規に設定する殿堂入り表彰規程について審議しました。選出は理事会にて決定とすべき等の意見が出され、本日の審議を踏まえて原案を法務委員会において修正することを条件として承認しました。
- ・テストイベント実施の体制について承認しました。

(主な報告事項)

- ・茨城国体の実施概要について
- ・2018/2019シーズンの競技結果、世界選手権大会結果、男子エペ無意欲試合について
- ・コンプライアンス案件について
- ・2020報告について

以上

### 第4回 令和元年9月29日理事会

(主な議案)

- ・スポーツ庁のガバナンスコードの策定を受け、ガバナンス確保のための一連の作業体制について審議し、承認しました。
- ・継続となっていた委員会運営規程策定について審議し、承認しました。
- ・新たに実施する運びとなった殿堂入り表彰について、山本耕司氏、田淵和彦氏の殿堂入りを審議し、承認しました。

- ・利益相反規程策定の準備について協議しました。

(主な報告事項)

- ・ 2019 世界ベテラン選手権派遣選手名簿について
- ・ 当協会の構造的問題と対応について
- ・ ルール・審判委員会組織について
- ・ 小中学生海外派遣事業について
- ・ コンプライアンス案件について
- ・ 強化に係る予算の執行状況について
- ・ 2020 東京オリンピック FIE への推薦審判員名簿について
- ・ サプリメント回収について

以上

第5回 令和元年 10 月 27 日理事会

(主な議案)

- ・2022 世界選手権を日本に誘致することを本年のFIE総会に上程することについて審議し、半年程度を目処として、開催地並びに大会概要を定めることを条件とし、これが満たされない場合には開催申し出を引き下げることが出来ることを条件として、承認しました。なお、検討のため委員会を設置することとしました。
- ・2020 年鹿児島国体開催要項について審議し、これを承認しました。なお、日本フェンシング協会主催の大会におけるジュニア以下のカテゴリーの防具・武器基準について競技会事業本部と普及育成事業本部にて検討し、その結果を踏まえて、必要に応じ計画的に大会要項等の変更手続きを行うことが付け加えられました。
- ・倫理・懲戒規定改正について審議し、一部技術的な修正を加えて、これを承認しました。変更の主旨は、①同規定に協会コーチを明確に盛り込むこと、②内部通報窓口担当者に秘密保持義務を課すこと、③新しい組織体制との整合性を確保することです。
- ・情報開示窓口設置について協議しました。同窓口を設置する目的は、情報開示により当協会運営の透明性を確保することです。

(主な報告事項)

- ・NTC 利用について
- ・全日本団体戦役員について
- ・総務企画(広報)委員会委員名簿更新について
- ・医学委員会名簿について
- ・2020 委員会会議議事録について

以上

#### 第6回 令和元年 11 月 24 日理事会

(主な議案)

- ・謝金規程変更について審議し、これを承認しました。なお、当協会負担で上乘せすることが可能なのか、支給基準に幅を持たせることが可能なのかなどについて、本日欠席している福田佑輔強化本部長を含めて、さらに議論をしていくこととなりました。
- ・委員会運営規程改正の件について審議し、これを承認しました。
- ・ユニバーシアード選手選考会主管の変更について審議し、これを承認しました。この決定により、本選考会の主管は、日学連から本協会(強化本部)に変更となります。
- ・登録規程の改定について協議しました。現行規程第11条の別団体の登録に関し、実態に即した改定を行うべきとの意見が出され、本件に関しては、事業本部連絡会において引き続き検討していくこととなりました。

(主な報告事項)

・倫理委員会委員名簿について

なお、本報告に関しては、本理事会で成立した改正委員会運営規程に従って、他委員会委員とともに、理事会承認手続きを経ることとなりました。

・安全対策(FIE 新ルールの適用)について

以上

#### 第7回 令和2年 1 月 26 日理事会

(主な議案)

- ・会長不在の場合でも理事会が開催出来るよう、定款変更の手続きに入ることを審議し、承認しました。
- ・弁護士顧問契約を結んでいる井口加奈子理事の異動にともない、同契約の変更について審議しました。同理事が顧問弁護士として有効に機能していることを確認する一方、契約手続きについて整理が必要との意見等から、次回理事会で会長提案とし継続審議することとしました。
- ・日本スポーツグランプリ推薦について審議しました。協会ホームページを通じて周知を図るべきとの意見等から、次回理事会で継続審議することとしました。
- ・後援・協賛・主催等に関する規則(修正案)について審議しました。具体的な対象競技会の記載については別添とする等の修正を加えて、これを承認しました。
- ・審判員表彰を新たに行うことについて審議しました。審判員を増やし国際的に活躍できる審判

員を送り出すことが必要等との意見が出され、この設置を承認するとともに、表彰委員会の取り扱いとし、予算についても表彰委員会と協議の上、来期に計上することとしました。

(主な報告事項)

- ・東京 2020 対策委員会について
- ・高円宮杯エントリーミスの対応について
- ・今期の収支状況と収入不足に関する対応について
- ・ガバナンスコード適合審査について
- ・高体連加盟校へのコーチ用プロテクター配布について
- ・会計事務所変更について
- ・アスリート委員会によるファン感謝祭実施報告について
- ・予算執行状況報告について

以上

第8回 令和2年3月1日理事会

(主な議案)

- ・2020 年第 44 回年全国高校選抜大会のコロナウイルス対応について審議しました。共催である全国高等学校体育連盟のフェンシング専門部長釜井昭人氏に状況の説明をいただきました。新型コロナウイルス感染の影響で都道府県の決定で学校が休校しており実質的に活動休止状態の中、開催地の対応も踏まえ、大会の中止を承認しました。
- ・2020 年 3 月総会招集について審議し、承認しました。尚、新型コロナウイルス感染症の影響により正会員が一同集っての総会開催は行わず書面による議決権行使による総会決議を行うこととなりました。
- ・2020 年事業計画・予算案について審議し、承認しました。
- ・弁護士顧問契約について審議し、承認しました。利害関係人である井口理事を除く全会一致でこれを承認しました。なお、財政状況等を鑑みた特別な対応であることを踏まえ、今後の弁護士顧問契約の方針についてガバナンス確保の検討の中で議論することとなりました。
- ・日本スポーツグランプリについて審議し、候補者を承認しました。ベテラン委員会から推薦された立花良子氏を当協会として日本スポーツ協会に推薦致します。
- ・2027 年度長野国体試合会場について審議しました。同一敷地内になる 2 施設で開催すること等について開催地から要望がありましたが、競技運営上の負担等を考え、再度開催県に検討していただくこととして、審議提案差し戻しとなりました。
- ・定款変更(追加分)について審議しました。審議の結果業務執行理事が年 4 回の業務執行状況報告をする従来通りとし、提案者は審議提案を取り下げました。
- ・理事会運営規程及び議事録作成要項について審議しました。審議の結果、議事録の原案を

事務局にて作成対応することや、理事候補者の理事会立ち会いについての文言を削除する等の修正を行うことを条件として承認しました。

- ・登録規程改定について審議しました。登録規程第 11 条第 2 項内ブロック予選会の開催日をブロック予選会申込期日に変更する調整を行い、提案を承認しました。
- ・コーチ行動規範の改定について審議しました。コーチの適応範囲について再度検討を要するとして、継続審議となりました。
- ・代表選手行動規範の改定について審議し、承認しました。
- ・協会決算に関わる規程類整備、剰余金解消計画について審議し、承認しました。

(主な協議事項)

- ・ガバナンスコード現状と今後の対応方針について協議しました。今回の議論を踏まえて、適合性審査に対する具体的な回答案を作成することになりました。

(主な報告事項)

- ・小学生派遣事業中止について
- ・次世代ターゲットアスリート支援事業成果報告について
- ・中長期基本計画の策定状況と今後の予定について

以上

## 第9回 令和2年3月28日理事会

(会長挨拶要旨)

- ・今回、理事会をビデオ会議で行うことが、今後の対応にも良いことだと思います。コロナウイルス感染リスクが広がっていく中、ピンチをチャンスに変えていく非常に良い事例だと思います。一方、実際に会って話すことも大切だと思いますので、バランスの良い協会運営を心掛けていきたいと思います。
- ・皆さんご承知の通り、IOC、安倍首相、都知事の三者会議が行われ、事実上のオリンピックの延期が決まりました。そのうえでみなさんが興味を持ったのは、選手の選出に関してでした。IOCの方から基本的には内定を得ている選手が来年出場することをIFとの協議の中で意思統一されました。これからフェンシングとしましてはFIEの理事会で決定された後に、NFとして誰を選出するのか決定されていくことになると思われます。一方当面試合を再開するとは考えにくいので、シーズン自体がずれ込むことが考えられます。今後小さな決定でも理事間の開催待たずに理事の皆さんにはメールやLINEでお伝えしていこうと思います。日本ではまだ選手を決定しておりませんので、全ての試合が終了した後に日本選手団を決定していこうと思います。
- ・日本選手団の壮行会を6月3日に開催することを決めていましたが、オリンピックの延期にな

加え、6月の段階でコロナウイルスが落ち着いているとは考えにくいので、これに関しては今回中止とさせていただきます。

- ・全日本選手権大会や学連の大会なども上半期全ての大会が中止となりましたので、これから選手たちも試合をする場所が減ってくるのではないかと予想されます。皆さんのお知恵をいただきながら大学の入試にも関わる選手たちに戦いの場を作るなど、対応を考えていきたいと思えます。
- ・最後になりますが、新型コロナウイルスの終息が見えない状況下でありますので、皆さんも健康管理には十分留意していただいて、フェンシングからクラスターのようなものが広がることのないように健康管理を徹底していただければと思います。

#### (主な議案)

- ・前回議事録の承認
- ・コーチ等行動規範の策定の件 (提案者)理事 井口加奈子  
これを承認可決しました。
- ・理事会運営規程細則改定の件 (提案者)理事 井口加奈子  
これを承認可決しました。
- ・利益相反マネジメント規程策定の件 (提案者)理事 井口加奈子  
これを承認可決しました。
- ・リスク管理ガイドライン制定の件 (提案者)専務理事 宮脇信介  
これを承認可決しました。

#### (主な協議事項)

- ・役員定年制の件 (提案者)理事 井口加奈子
- ・海外からの提携覚書締結検討の件 (提案者)専務理事 宮脇信介

#### (主な報告事項)

- ・第7回2020対策委員会について (提案者)副会長 齊田守
- ・令和2年度日本F協会主催・後援大会について (提案者)理事 辻村真一郎
- ・新型コロナウイルスに対する強化本部対応について (提案者)常務理事 福田佑輔
- ・職員正規雇用について (提案者)専務理事 宮脇信介
- ・佐賀県連携協定について (提案者)会長 太田雄貴

以上

**第10回 令和2年4月26日理事会**

中止

## 第 11 回 令和 2 年 5 月 24 日理事会

### (会長挨拶要旨)

- ・コロナ禍において Zoom 等デジタルを活用した理事会を行うなど以前からやろうとしていたことが進み、今後も運用し皆さんにご移動していただくなくても様々な会議ができるような状態になってきたとポジティブに捉えたいと考えます。
- ・先日は甲子園の中止が大きなニュースになり、そしてインターハイも中止になるなど高校生たちが目指すべき一番大きな舞台が無くなり、我々大人達はその代替案など知恵を絞らなくてはならない局面になってきていると思っております。その中で当協会の山口理事や村上理事が Zoom を活用し子供たちにトレーニングを配信し、お子さん達にフェンシングに触れる機会を率先的に作ってくださって、個人で自分たちができることを懸命にやるという姿勢には本当に感謝しております。この場を借りて御礼を申し上げます。
- ・明日、緊急事態宣言が解除する方向に向かっているとメディアが報じていますが、まだまだ様々な制限がかかっている状態だと思えます。その中でフェンシングは、国内においては今の場所にいる理事の皆さんで今から議論し決定していくことになると思います。国際の動きとしては大きく日本国内以上にひどい地域があるので、大会を開催するというははまだ全くスケジュールすら決まっていないのが現状です。一方でオリンピックが来年開催されるとし、それに向けた動きとして、オリンピックの選手選考をまず早急に終わらせることを第 1 ミッションにしていますが、それは上半期には開催しないということは確定しています。選手たちのある程度の準備期間が必要と考えられ、このある程度が一つの争点になると思いますので、IF 国際フェンシング連盟のアスリート委員会とも協議しながら開催日程を決めていくことになると思われます。しかし、大会を作るというのは予約を含めた会場の準備がかなり大変になってきますので、年内は事実上厳しいと見通されていますが、決められた日程でやるしかないというのが現状だという事になります。それに伴い高円宮杯の開催可否に関してもそろそろ言及があるのではないかと推測しています。今現在まだ 2020 年 21 年シーズンについては一切の方向性を FIE としては示していないが、10 月以降の通常開催はまだ難しいのではないかという見方が一般的な共通認識だと思われ、名古屋で予定をしている高円宮杯の開催は現状まだ決まっていますが少し雲行きが怪しくなっていると思っております。
- ・また、明日、緊急事態宣言が解除されますが、小池都知事がフェーズ 1・2・3 という状態を発表していましたが、県をまたぐ移動は極力控える要請がこの後も続く見通しが立っていますので、6 月に予定をしていました総会も議決権行使書での決議とし、議案に関する説明を Zoom にて行うことで総会を開催することになると考えています。
- ・本日の理事会は、まだ皆さんにも議案書が出せていない重要な案件を含むものがあります。多数決で押し切る協会運営はしておりませんので、皆さんからいろんなご意見頂きながら結



論を出していきたいと思ひます。

#### (主な議案)

- ・前回議事録の承認
- ・前期決算における特定費用準備金計上の件 (提案者)理事 坂俊甫  
これを承認可決しました。
- ・2019年度決算承認の件 (提案者)会長 太田雄貴  
これを承認可決しました。
- ・2020年度修正予算承認の件 (提案者)会長 太田雄貴  
これを承認可決しました。
- ・理事候補選任の件 (提案者)会長 太田雄貴  
山西理事(高体連)の辞任届提出にともなう新規候補者選任の議案であり、これを承認可決しました。
- ・協会事業年度変更の件 (提案者)会長 太田雄貴  
予算立案等財務上の負担解消やフェンシング・シーズンとの整合性をとることによる海外遠征執行円滑化を狙いとすた3月末から8月末への決算期変更の議案。助成金手続きや登録手続き等に関する議論を経て、これを承認可決しました。
- ・2020年6月総会招集の件(提案者)会長 太田雄貴  
これを承認可決しました。
- ・アンチドーピング規程新規策定の件(提案者)理事 井口加奈子  
これを承認可決しました。
- ・2020年度ミニム委員会関係事業の件 (提案者)理事 小玉和成  
これを承認可決しました。
- ・2020年国体及び全日本団体役員名簿の件 (提案者)理事 佐藤衛  
これを承認可決しました。
- ・第73回全日本選手権(団体戦)大会要項の件(提案者)理事 辻村眞一郎  
これを承認可決しました。

#### (主な協議事項)

- ・第73回全日本選手権(個人戦)大会要項の件(提案者)理事 辻村眞一郎
- ・大会後援依頼の件 (提案者)理事 佐藤衛

#### (主な報告事項)

- ・鹿児島国体可否決定について(日本スポーツ協会からの通知)(提案者)副会長 末松英司

以上

## 第 12 回 令和 2 年 6 月 20 日理事会

### (会長挨拶要旨)

・今日は特殊な理事会となっております、本来であるならばこの理事会の前に総会をする予定をしておりました。その総会をもって決算を承認した後、新たに理事会を開催する予定だったのですが、この後に説明をしていきますが、総会を招集する際に一部手続きに不備があったということがわかり、第 1 号議案にあげさせて頂いております通り総会を延期する処置を取ろうと考えております。その第 1 号議案を最初に進めていく必要性があり、そのような順番になっております。今回の理事会自体は、そこが一番大きいトピックスになりますが、全ての審議事項と報告事項が終わった後に、皆さんもご心配されておりました週刊新潮の件にまつわる説明をさせていただきますたく思っております。今日は本来総会を開催する予定でしたので、事務局に宮脇さんとともに東京都の中村さんに来て頂いておりますので、最初にその第 1 号議案にて総会延期の審議から行っていきたく思います。

・今日の審議事項自体は総会の話とランキングと沼津と全日本の個人など、総会の延期を除いては、事前に皆さんからも特に質問もなかったと思います。

・今回より Zoom で全員揃っておりますので、より活発な議論がしていければと思っております。Zoom だと聞き役に徹してしまいがちになると思いますが、皆さんも議事に対してご質問ご意見ある場合は、積極的に発言いただければと思っております。

### (主な議案)

・前回議事録の承認

・2020 年 6 月総会招集(延期)の件 (提案者)会長 太田雄貴

これを承認可決しました。

質問: 誤った部分に対して今後の対応策はいかがか? また本件審議事項であるが、否決された場合総会はどうのようになるのか。

答弁: 総会招集通知を一般企業の株主総会に一般的に用いられているフォーマットと同様にし、その参考資料である議案関連資料と一体化するなど、事務的ミスが発生しない様に協会事務手続き上の取扱いを変更していきたい。また、今後メールで送付するなど今後議論を行っていきたく考える。この審議が否決された場合は、東京都正会員の中村様立ち会いのもと、既に送付されております議決権行使書をもって総会を開催します。

・2020 年度 FJE ランキング及び選手選考の件 (提案者)常務理事 飯田徳光

これを承認可決しました。

・沼津市からの大会後援申請の件 (提案者)理事 辻村眞一郎

これを承認可決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問: 本件大会日程後に開催予定していた全国小学生大会など協会主催の2大会を中止としているが、本件大会は開催しても問題ないのか？

答弁: 本件大会の参加者が50名以下、及び静岡県の新型コロナの感染者が相当少なく参加地域が限定されている本件大会は、感染症対策を万全に講じることで開催すると聞いており後援することに問題ないとする。

・第73回全日本選手権(個人戦)大会要項の件 (提案者)理事 辻村眞一郎

これを承認可決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問: 通常全日本選手権はベスト64までポイントが付与されていたが、今回大会はベスト32からの参加ということだが問題ないか？

答弁: ランキング対象外とすることも検討した。しかし、ポイントを付与することで来年度のシードを確定するためにも決定した。

意見: 新型コロナの拡大があり大会中止となった場合は、参加費の返還をする旨を大会要項に記載した方が良く考える。

#### (主な報告事項)

・第8回 Tokyo2020 対策委員会について (提案者)副会長 齊田守

・東京 2020 オリパラ NF 協議会について (提案者)副会長 齊田守

・業務報告について (提案者)専務理事 宮脇信介

・かごしま国体について (提案者)副会長 末松英司

以上

### 第13回 令和2年7月12日理事会

#### (会長挨拶要旨)

・理事会の前に総会を無事開催することができました。正会員の方からのご指摘を受け、それにしっかりと答えるような形で対応を行い、総会の開催に向けての準備からやり直すという形を取らせて頂きました。競技団体に対する目というのは常に厳しいものもありますので、信頼を勝ち取っていくという意味も含めてこうした新しくちゃんとした形をとっていかうということを心がけております。また引き続き皆さんにもご協力賜れますようよろしくお願いいたします。

・本日の流れですが、本日の審議議事自体は二つしか出ておりません。寄附に関する事項とインターハイの代替大会の件になります。そのほか、皆さんと議論または共有しておかなくてはならないことがいくつかあります。事前に皆さんにもお伝えしております通り今の強化の体制について意見がだされておられ、現状の共有や一連の流れに関して強化本部長、専務理事、事務局長から伝えていただき、理事の皆さんからもお気づきの点等あればお話しいただき、次のアクションプランを出していきたいと思っております。

・国際連盟の動きを理事の皆さんに共有したいと思います。国際連盟の会長が総額1億円寄附をしました。ジュニアアカデ世界選手権及びベテランの世界選手権は中止が決定しました。2021年の世界選手権が中止になり、1年間スライドし22年にエジプトの開催地立候補が決まりました。よって福岡で開催検討している世界選手権も、開催するのであれば23年以降になるということになります。その他オリンピックのクオリフィケーションや2020年と21年の国際連盟のスケジュールや世界ランキング決め方などになります。世界的には11月から世界大会を再開させたいという方針ですが、これもあくまで世界のコロナの状況を鑑みながらやっていく流れです。また、サーブルの剣がFIEの剣がマストになってきますが、正式にはオリンピック終了後から適応となります。レフリー試験も一年延期になります。一番大きいところがオリンピックのクオリフィケーションのところになります。本来オリンピック予選の最終試合だった3月のワールドカップもしくはグランプリと同じ場所同じタイミングで2021年に開催するという事を一つの目標とするとされています。結果、もし11月からワールドカップ等が再開したとしても、オリンピックの選考にまつわるのはこの最後の一試合で出場権が決まることになります。「凍結」されていた20年3月の時点でのランキングを「解凍」する形で、これらの2021年3月に行われる試合のみを追加的に考慮し、オリンピックの最終予選をやる事になります。

・今、国際連盟の方もface to faceで会う理事会はほぼ無くなりZoomの活用やメールでの決裁を行っています。皆さんもZoom等に慣れてきたと思いますが、コロナの感染者数の増加傾向を見ると大会は今までどおり開催することは、やはり簡単ではないと感じております。全日本選手権決勝も無観客で配信限定とし良かったと改めて思っております。まだまだ先の見通しが良くない状況が続きますが、資金的にもスポンサー様から協賛を断られるケースが増えてきていることを考えると、やはりしっかりと支出管理もしていかないと今後どんどん厳しくなるということを感じる昨今です。

#### (主な議案)

・前回議事録の承認

・寄附金等取扱規程、その他寄附に関する件 (提案者)理事 坂俊甫

これを承認可決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問: 寄付金等取扱規程第5条に「基準を満たしている」と記載されているが、組織上のどこが判断するのか?

答弁: 事務局での判断となる。使用に関しては、会長、専務理事、財務戦略委員会で判断する。

質問: 審議議案書に記載されている「詳細の一任」は運用することへの一任か、詳細を作成することの一任かどちらか?

答弁: 審議したい内容は、寄附金取扱規程の内容に対して、及び実際の寄附金の運用に関して一任していただきたいことになる。

意見: 一任の範囲に対して疑問がある。ある一定以上は理事会案件にしてはどうか。

質問:第4条の使途の割合は寄付を受ける際に事前に決めておく必要があるのではないか?また、第6条の「次の原則に留意する」とあるが、原則は事前に決めておく必要があるのではないか?選手に使用する際は、強化本部長が承認または報告を受ける必要があると考える。

答弁:50%以上は公益目的事業に使用する。第6条の「会計処理を行うにあたっては、次の原則に留意する。」の一文を削除する。

・大会の後援依頼の件 (提案者)常務理事 佐藤衛

反対多数によりこれを否決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問:高体連に対し後援依頼は無かったのか?

答弁:全国高体連として全国大会を中止としているので、県単位での大会は容認できるが全国規模の大会の後援はできないとした。

質問:箱根町開催だが、神奈川県協会に対しての働きかけは無かったのか?コロナ禍での開催に対し具体的案の記載がないが、宿泊などに対し感染予防の処置がされていると考えてよろしいか?

答弁:神奈川県協会に対し話は無い。名義使用に関する規定第3条記載の業務遂行能力が十分であるとしているが、本大会の主催者は実行委員会とされる任意団体であり十分な業務遂行能力があると判断できない。

答弁:濃厚接触はないと記載されているが、宿泊に関しては何ら記載されていない。

質問:大会要項8に日本フェンシング協会に2020年度の会員登録が完了していることと記載されているが、もし審議承認された場合に任意団体や民間団体に登録に関する情報を開示して良いのか?

答弁:登録情報の開示はできないと判断する。

答弁:エントリーが完了した際に、協会内で登録状況を確認することになると考える。しかし高校3年生は登録をしていない現状がある。

質問:もし後援しない結果になった場合、日本協会登録など日本協会と関りが無いように求めた方が良いのではないか?

答弁:後援しない場合、その記載は削除を求める。また、JAPANなどの大会名に対しても変更を求める。

質問:全日本選手権の日程と重なっているが、甲斐審判委員長が役員になっているが審判委員会はどのような対応をするのか?

答弁:全日本選手権を優先することを確認している。

意見:高校生の大会を開催されることは嬉しく思う。しかし曖昧なことが多いのが事実である。高校生に対し公欠は出ないという問題がある。

(主な報告事項)

- ・業務報告について (提案者)会長 太田雄貴
- ・業務報告について (提案者)専務理事 宮脇信介
- ・業務報告について (提案者)常務理事 飯田徳光
- ・業務報告について (提案者)常務理事 福田佑輔
- ・業務報告について (提案者)常務理事 佐藤衛

以上

## 第14回 令和2年8月30日理事会

### (会長挨拶要旨)

・金曜日に安倍総理が退任される発表があり、私にとっても2013年の東京オリンピックの招致の時に一緒させていただいた間柄でしたので、非常に驚いております。オリンピックを開催したいという強い思いを特にお持ちの方ただだけに、今後スポーツ界に何かしらの影響があるのではないかというのは、容易に想像ができるのではないかと考えております。しかしながら、当協会としてオリンピックの開催可否に関わるということは直接的には不可能ですので、私達は色々な想像をしながら、あるパターン、ないパターン、あると信じて取り組む方々もいれば、一方で、ない可能性も鑑みながら協会の運営をしていかないといけない人、様々な想定をしながら今後進めていく必要があるのではないかと考えております。

・もうすぐ9月になりますが、オリンピックが開催されるとなるまで1年を切っている中、協会としてもより良く好転していくように様々な人の配備、組織としての在り方、そういったところを作っていきたいと考えております。ガバナンスコードへの対応も、それと合わせながらよりスポーツ界のロールモデルになれるような協会の体制を作っていきたいと考えております。

・皆さんにとって実りある理事会運営になるよう、少し時間を取りながら皆さんと議論を深めていければと考えております。私の方からは以上となります。本日はよろしく願いいたします。

### (主な議案)

・前回議事録の承認

・コーチ等の行動規範改定の件 (提案者)理事 井口加奈子  
これを承認可決しました。

・トレーナーの行動規範の件 (提案者)理事 土肥美智子  
これを承認可決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問: 社会的倫理規範が内容に組み込んではいかがか?

答弁: 冒頭部分に該当する。

質問: トレーナー業務特有ではない全体に関する箇所は他の行動規範にも反映する必要があるのでは?

答弁:他の行動規範にも今後反映を考えていきたい。

答弁:コーチ等の契約書にも記載があるので、まずはそちらで対応していきたいと考える。

・第21回全日本ベテラン選手権大会要項の件(提案者)理事 村上幸生

これを承認可決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問:本大会はどこの管轄で運営されているのか?またそれに伴う支障はないか?

答弁:ベテラン委員会が運営している。

答弁:予算組から大会運営決算まで委員会で行われている。助成金事業であるので、決算精算業務を事務局で行っているが、稀に経費などが漏れることがある。

・国民体育大会成年男女の監督増員の件(提案者)副会長 末松英司

賛成多数でこれを承認可決しました。(17名中4名反対)

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問:1名追加になることに関し各支部に相談等は行ったのか?また、男女で1名の監督という事だか競技を行っている場合難しいのでは?

答弁:全国にアンケート等は取っていない。要望があったため。監督が会場内にいれば選手などが代わって行うことで対応したい。

質問:指導者講習会のコーチ①の受講者が減るのではないか?

答弁:減ってくる可能性もあると思う。

意見:各支部にアンケートを取るべきと考える。

質問:過去人数を減らしている中で、JSPOとしての感触はどうなのでしょう?

答弁:過去増員は認めないという方針。資格を取らなくてはならないなど条件が変わってきている。

反対:スポーツ協会が規模縮小に向かう中この要望を出すのはどうか。また指導者講習会受講者が減ることは協会としても大きな損失と考える。

・殿堂入りの件(提案者)副会長 末松英司

これを承認可決しました。

・第6回全国中学生選手権大会団体戦の件(提案者)理事 小玉和成

・高円宮杯中止の件(提案者)会長 太田雄貴

これを承認可決しました。

・全日本選手権団体戦の中止の件(提案者)常務理事 佐藤衛

これを承認可決しました。

#### (主な協議事項)

・委員会メンバーの件(提案者)常務理事 浅井直樹

主な意見は以下の通りです。

意見:事務局員が各委員会に担当事務局員がつくのが理想ではあるが、委員として名前を連ね

るのは疑問に感じている。

意見:委員会名簿の中に強化本部も入れた方が良いと考える。

意見:今後女性委員の増員を考えて欲しい。

- ・ガバナンスコード適合性審査書類案の件 (提案者) 常務理事 浅井直樹
- ・理事改選に向けての理事会傍聴の件 (提案者) 理事 井口加奈子

主な意見は以下の通りです。

意見:理事会傍聴に関して理事候補者と限定しなくても良いのではと考える。また、一般的には外部の人が傍聴をすると「自由な議論を妨げる」との意見がある。このような意見への配慮も必要ではないか。

意見:理事としての役割を明確に理事候補者に事前に伝えることが重要だと考える。また理事の業務のボリュームを事前に共有できると良いと考える。

#### (主な報告事項)

- ・倫理委員会委員辞退について (提案者) 理事 高橋英一
- ・全日本選手権団体戦日学連推薦枠辞退について (提案者) 理事 高橋英一
- ・第73回全日本選手権個人戦大会要項変更について (提案者) 理事 辻村眞一郎
- ・長野国体について (提案者) 副会長 末松英司
- ・シンガポール協会とのMOU締結について (提案者) 専務理事 宮脇信介
- ・ワーキングペーパー取りまとめについて (提案者) 専務理事 宮脇信介
- ・FIEからの補助金について (提案者) 理事 井口加奈子
- ・業務報告について (提案者) 常務理事 浅井直樹
- ・競技中の飛沫実験実施について (提案者) 理事 土肥美智子
- ・日本協会スケジュール共有について (提案者) 理事 辻村眞一郎

以上

### 第15回 令和2年10月11日理事会

#### (会長挨拶要旨)

・2週間前に開催されました全日本選手権、皆さまのご協力、本当にありがとうございました。特に事業委員会のトップである佐藤さん、辻村さんのお二方は、リーダーシップを取っていただき、大会期間中でも細かい意思決定が沢山あった中、丁寧に対応していただきありがとうございました。無事に2週間経ちコロナの感染に関する報告が上がってきておりませんし、感染症予防とエンタテインメントの2つの観点からNew Standardを作っていくという狙いについて、一定の評価を得たのではないかと考えております。スポンサー様の方々からも非常に高評価をいただきつつも、数字上はちょっと厳しいものの中にはありましたが、後ほどどういった施策を全日本の中で散りばめ



てきたかという点について報告にてご説明させていただきます。また一昨日、佐賀県とのふるさと納税の件も無事終了し、そのスキームにつきましても共有させていただきます。

・一方、週刊新潮から始まった一連の対応も、今までの経緯の報告など共有していければと思っております。

・オリンピックまであと 300 日を切る中、今の状況を見るとオリンピックを開催する方向で政府も JOC も IOC も向かっていっているように感じます。私の方に関係者しか知りうる情報というのは回ってはきていないのですが、おそらく最近の流れを見るとやる方向で調整しているのだろうと考えております。一方で国境を開けるということに関しては、まだまだ難しいところが残っており、国際フェンシング連盟も年内の試合は全て皆さんご承知の通り中止、1 月・2 月に関しても 11 月末の国際フェンシング連盟の理事会で状況を見るにとどまっております。いつ再開されるか分からないという状況の中で、選手も含め、まだまだ不安な状況は続いていくと思いますが、今自分達ができることを精一杯やるということ、引き続きやっていきたいと思っております。

・活気のある理事会に今日もしていきたいと思っております。基本的には議題に沿って進めていきますが、これだけは言っておきたいこと、こういうことを思っているということがあれば、全部議案が終了した後に、皆さんの声をいただける機会がいただければと考えております。それでは本日はよろしくお願いいたします。

#### (主な議案)

・理事会傍聴申請の件 (提案者)理事 井口加奈子

これを承認可決しました。

・第 28 回 JOC 大会開催の件 (提案者)理事 辻村眞一郎

これを承認可決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問:ブロック予選開催は問題ないのか?

答弁:参加資格として NF 推薦も記載しているので、ブロック予選が難しい場合推薦も考える。

質問:新型コロナの感染者数が増えた場合の開催に関して考慮しているか?

答弁:体育館の使用方法や開催内容の変更に関して記述してある。

意見:各県内最低 1 名でも入れてもらえると良いと考える。

・謝金・国内旅費規程一部変更の件 (提案者)専務理事 宮脇信介

これを承認可決しました。

・国体延期による種目ローテーションの件 (提案者)副会長 末松英司

これを承認可決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

意見:開催されない種目への説明も考えた方が良いと考える。

・三重国民体育大会実施要項(案)の件 (提案者)副会長 末松英司

これを承認可決しました。

**(主な協議事項)**

- ・国民体育大会組合せ決定方法変更の件 (提案者)副会長 末松英司

主な意見は以下の通りです。

質問: 変更提案に至った経緯の詳細の説明ください。

答弁: システム上難しくなっており、1回戦2回戦分けて行うとした。

意見: 選手や見ている人にとってわかりやすいと考える。

- ・審判規定の改定の件 (提案者)常務理事 佐藤衛

主な意見は以下の通りです。

意見: 財政負担等も考慮して考えていただきたい。

意見: 審判活動に制限等を考えても良いのではと考える。

- ・ガバナンスコード適合性審査提出書類案の件 (提案者)常務理事 浅井直樹

- ・役員等の体制の整備案の件 (提案者)常務理事 浅井直樹

**(主な報告事項)**

- ・強化本部体制変更について (提案者)会長 太田雄貴

強化本部長代行として三野昌俊氏とする。

東京オリンピック監督として青木雄介氏とする。

- ・JOC エリートアカデミー候補者推薦について (提案者)会長 太田雄貴

推薦者該当無し

- ・第73回全日本選手権個人戦大会報告について (提案者)会長 太田雄貴

- ・佐賀県ふるさと納税について (提案者)会長 太田雄貴

- ・業務報告について (提案者)常務理事 浅井直樹

以上

**第16回 令和2年11月23日理事会**

**(会長挨拶要旨)**

・足許、明らかに新型コロナの感染状況が拡大してきていて、春先から「冬は感染が拡大する可能性が高い」ということが言われていましたが、その見通しが当たった形になってきてしまったと感じています。来週27日に国際連盟の理事会が行われます。国際連盟の理事会で、1月・2月のワールドカップをどうするか最終決定をされます。私の個人的な見方としては、1・2月の国際大会に関しては恐らく中止の方向で進み、3月に1発勝負でオリンピック選考を何とかするという方向に舵を切っていく方向に進む様にみえています。この後、本日JOCカップの開催可否についても議論がされると思いますが、4月の世界カデ・ジュニアに関しては、恐らく2月の国際連盟の理事会まで意思決定をしないのではないかと思います。来週の27日の国際連盟の理事会が金曜日の

夜中に行われますので、皆さんには決まったこと、決まらなかったことを整理して、ご連絡させていただきます。

・フランス及びヨーロッパ諸外国がまだロックダウンの状況の中で、ヨーロッパで試合を再開するのは、当面、少し現実的では無いのではないかと考えております。体操が国際大会を開催したということが大きくニュースになっていましたが、出場人数 30 数名かつ参加ヶ国数も 4 という、かなり限定的な大会であったという状況を考えるとワールドカップを再開というものの目処が経っていないというのが、昨今の状況を鑑みながらもお伝えできるところだと思っております。

・この後宮脇専務よりシェアいただきますが、日本代表選手の中からコロナの陽性者が出ました。かかってしまうこと自体は仕方が無いことだと思っておりますが、今回の対応に当たっていただいた方や、NTC の関係者の方々には、ご迷惑をお掛けしたということを痛感しております。しっかり感染症対策をしている選手達もいる中で、陽性者が出てしまったことは残念ではありますが、いつかは陽性者が出てしまうものだとも思いますので、感染者が全国で増える中では感染者が現れることは絶対的には避けられず、むしろ、如何に適切に対応するかが重要と思われれます。

・皆さんに共有しておく事案として、1 つポジティブなものがあります。仙台の東北文化学園大学という大学に、来年の 4 月からフェンシング部が創設することになり、新入部員として 6 名が高校から進学をして関東リーグに参加することが決まったとの報告を受けております。監督には以前日本代表としても活躍していた齋藤有選手が監督に就任しました。今後フェンシング協会としても学連とうまく連携しながら、フェンシング部を持つ大学の数を増やし大学のスポーツを活性化させるということも積極的にやっていかないと、大学でフェンシングができる環境が失われつつあると思うので、こういったことも少しずつ手を付けていく必要性を感じました。

・また、昨日まで佐賀県に行っていました。佐賀県の方でのふるさと納税も現在 1500 万円分くらいは集まってきており、現状では、最終的には 2000 万円くらいの着地を何とか今年度内にはできたらと思っております。今日、強化の財政状況についても恐らくシェアがあると思いますが、足許から当面、非常に厳しい財政状況が特に強化に続くと考えておりますので、その対策として、今回のふるさと納税による資金獲得は役立っていくのではないかと考えております。

・コロナの感染状況がまだまだ見えない状況が続いてくる中で、やはり選手達も試合に飢えているという状況が続いています。理事の皆様におかれましては、各種事業の中止という判断というのは当然しないといけない局面はあるとは思いますが、体操の内村選手も言っていました、何とかできる方法の可能性を捨てずに少しでも 1 つずつ大会を開催する方向も見出していきながら、色々な意思決定をしていきたいと思っております。

それでは本日よろしく願いいたします。

#### (主な議案)

・平成 30 年度事業対象事業実態調査回答の件 (提案者) 専務理事 宮脇信介  
これを承認可決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問: 区分会計をなぜできてこなかったのか？

答弁: 以前の会計事務所では、上手く機能できてこなかったため。今後はしっかりとした区分経理を行っていきたい。

・就業規則改定の件 (提案者)専務理事 宮脇信介

これを承認可決しました。

・理事会運営規程及び同細則改定の件 (提案者)理事 井口加奈子

主な意見は以下の通りです。

意見: 理事会の議案に関する資料に関しては、2回締め切りを設けてはどうか。議案書の表書きは更新するが、原則、既に配布した資料は再配布せず、追加的に提出された議案の資料のみを追加的に配布してはどうか。

・データ管理環境の件 (提案者)常務理事 佐藤衛

これを承認可決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問: 理事全員が確認できるようにしてはどうか？

答弁: 個人情報なども扱うので、整理して運用していきたい。

#### (主な協議事項)

・第74回全日本選手権個人戦参加資格の件 (提案者)理事 辻村眞一郎

主な協議の経過は以下のとおりである。

意見: ランキングマッチが開催されていない中、ランキングの精度が問われる。大会を安全に開催できる人数などで考えていけばよいと考える。

意見: ブロック予選などが無くなった場合、登録数の減少が心配される。また、地方の選手のモチベーション維持のためにもブロック予選は開催して欲しい。

意見: ランキングと共に地方の予選を巻き込んだ地方が納得できる開催を考えていきたい。

意見: アスリート委員会選考のプロセスにも関わるので、なるべく多くの選手が参加できるように考えていきたい。

質問: 予備選日を設けるなど難しいのでしょうか？

答弁: 宿泊費や会場予約の関係などにより現状は難しいと考えている。

#### (主な報告事項)

・北岡安才様叙勲申請について (提案者)副会長 齊田守

・マーケティング委員会委員増員について (提案者)会長 太田雄貴

・マーケ・営業職採用について (提案者)会長 太田雄貴

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問: 理事会審議事項ではないのか？

答弁: 事務局長など重要ポジションの人の採用に関しては理事会審議事項になる。その他従業員

の採用に関しては、予算の中である程度事務局などに裁量があると考える。

質問:登録会費収入が下がっているが事務局経費予算は大丈夫なのか？

答弁:事務局員の業務が強化などを行っている場合は、強化などに按分されて会計されている。

・第73回全日本選手権個人戦収支報告について (提案者)常務理事 佐藤衛

質問:余剰金の取扱いはどうなるのでしょうか？

答弁:強化の主にコーチの人件費による赤字を補填する形になる。

・業務報告について (提案者)会長 太田雄貴

・業務報告について (提案者)専務理事 宮脇信介

・業務報告について (提案者)常務理事 飯田徳光

・業務報告について (提案者)常務理事 佐藤衛

以上

## 第17回 令和3年1月17日理事会

### (会長挨拶要旨)

・新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

私が会長としてさまざまな取り組みなどを今まで行ってきたことによって、フェンシングから他の競技団体に波及したことも数多く存在しています。このような体制が、新しい体制となる6月以降も続けていけるように、今後も取り組んでいきたいと考えております。

・先ず、コロナ関連のことを少し触れます。再度緊急事態宣言が発出されましたが、先日JOCカップを無事開催することができ、佐藤理事、辻村理事を中心に多くの理事の皆様にはご苦労をお掛けしました。感謝申し上げます。確かに、かなり多くの出場辞退者を出したことも事実としてあります。選手の意思ではなく、多くは学校等の方針に従わざるを得ないという状況も数多くありました。しかしながら、それ以上に出場できた選手の喜ぶ顔を見られたことは良かったと思います。感染症対策も万全に入退出管理まで徹底して行えたことは良かったと思います。

・次に財務状況です。スポンサー各社様も継続が難しいところがあるとも聞いています。しかし次の新しいスポンサー獲得に動き出しています。また、ふるさと納税も皆様の御協力もあり、佐賀県では4,500万円程、渋谷区では570万円の資金調達ができました。渋谷区の方に関しては強化に限定されているものになりますが、佐賀県の方に関しては基本的には強化に使用しながらも、協会のがバナンス対応など様々な事業に活用できる財源ができたというのは非常に喜ばしいことでもあります。理事の皆様の中でも多額の寄附をいただきありがとうございます。

・国際に関してですが、未だこの先の試合再開の目途は立っておりません。ヨーロッパの状態が芳しくない状態が続いていますので、現状としては3月末にハンガリーもしくはロシアで大会を開催することを目標にやっています。

・最後に、足許の課題ですが、今日の議題にもいくつか出ていますが、理事としてやるべき規定類などの整理などを行っていききたいと思います。特に登録費削減に関しては私の公約でもあります

ので、皆様と多くの議論をしていきたいと思います。

**(主な審議事項)**

・個人情報保護規程策定の件 (提案者)理事 井口加奈子

これを承認可決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問: 大会要項に個人情報使用の旨を記載する必要があるか?

答弁: 試合に出場する時点で個人情報を使用することに了承していると捉えることができるが、可能であれば大会要項に記載することが望ましいと考える。

質問: 適応範囲はどこまでなのか?

答弁: 第3条に記載される担当者が扱う情報すべてが対象となる。

質問: 第11条に関して、個人情報を取り扱う可能性がある業者に関しても、契約書等に個人情報取り扱いに関して記載することか?

答弁: 契約書等に関しても記載するべきと考える。

・利益相反マネジメント規程細則策定の件 (提案者)理事 井口加奈子

これを承認可決しました。

主な質問・答弁は以下の通りです。

質問: 積極的な報告義務などが無いと読み取れる。

答弁: こちらは細則になるが、本則には記載が本人からあり報告をする義務がある。

・登録規程改定の件 (提案者)理事 辻村眞一郎

審議の結果、本議案は継続審議となりました。

主な意見・質問・答弁は以下の通りです。

意見: 別表と本文が合わないと考えられ、法務委員会で再度協議したい。内容的には問題ないが、規程としての文体を調整したい。

意見: 協議事項として扱ってはどうか。

意見: 次回理事会には審議しなければ、会員登録スケジュール的に間に合わなくなる。

質問: 大会など登録システムとの関係はどのようになるのか?

答弁: 基本的には大会登録システムは変わらないが、将来的には良いものになるようにつなげていきたい。また4月の大会に向け3月1日より競技会登録を開始したいので、スケジュールも念頭に議論願いたい。

意見: 入会と登録をはっきりわかりやすくした方が良い。入会規程等入会に関することも検討した方が良いと考える。

意見: 競技者登録と協力会員登録が重複する場合があると考えるので、重複する場合の整理が必要と考える。

答弁: 基本的には競技者登録を優先するように考えている。規程の文章を整理する。

質問: 高校の先生は一般登録としており、学校によっては学校予算とする学校もあると聞いている。今回新たに、監督・コーチという分類があるがダブリもあり得ると懸念するがいかがか？

答弁: 次回までに整理する。

意見: 協力会員を設置する目的を明確にし、各支部に説明した方が良い。第5条で、総会扱いとしていたものを理事会扱いに変更するならば、過去の経緯も確認したうえで慎重にした方が良いと考える。

意見: 会費の値下げは理事会承認、会費の値上げは総会承認など柔軟な対応も良いと考える。

意見: 会費の値下げとはいえ総会の権限を奪うことは良くないと考える。ただし結果の重要性を考えると会員の権利の向上が考えられるため良いと考える。また、会長の公約にもなっているので、その意思決定に沿った議論を行い事後の承認を総会で得るというのも良いのではないかと考える。

質問: 協力会員のメリットなどを検討するのか？

答弁: 何らかのメリットを検討している。

意見: 管理コストが発生しないような事柄を考えていきたい。

質問: 協力会員の個人は寄付金控除の対象にはできないのか？

答弁: 今回の規程はお金を集める目的よりもフェンシングに関わる人を増やす目的の方が大きい。しかしご指摘に対しては検討を進めていこうと考える。

質問: 監督コーチが協力会員にするなど、かなりの説明が必要になると考える。監督コーチは競技者登録でも良いのでは？

答弁: 監督コーチは競技に出場しないのであれば、少しでも負担を減らしてあげたいと考える。

意見: 各分類分けを明確にわかるようにした方が良いと考える。

意見: 協力会員のメリットを先に規定する必要があると考える。協会にとっての会員を増やす目的や意義をあらためて整理した方が良いと考える。

・第74回全日本選手権(個人戦)大会要項案の件 (提案者)理事 辻村眞一郎

審議の結果、本議案は継続審議となりました。

主な意見・質問・答弁は以下の通りです。

質問: 競技会推薦枠シニアランキングもってとされているが、いつからいつまでのランキング対象試合と把握しているのでしょうか？

答弁: 強化本部からまだ日程が上がってきていないが、今のコロナ禍の状況を考えるとどうなるかわからない。

質問: ランキング上位48とした場合の、予選時に駒沢でピストを配置した場合の配信などへの影響は考えられているのか？

答弁: カラーピスト及び外周に4ピストで全8ピストの予定で考えている。

質問: 大会要項はスケジュール的にいつまでに出すのか？

答弁:21年度の予選会の前までには出す予定。5月の理事会までには固めたい。

意見:ランキングマッチができないという状況下でトーナメントに即出てくるのは難しいと考える。できればプール戦からやれると良いと考える。

質問:競技者とコーチ監督はそれぞれ1名としているがトレーナーはどのような扱いになるのか?

答弁:大会時のコロナの状況によるが、事前申請してもらう事で判断する。

意見:ランキングマッチがまだ決まっていない状況であるので、今回の要項は5月の理事会まで時間があるので継続審議としてはどうかと考える。

・2022年全日本選手権(団体戦)大会開催地の件 (提案者)副会長 末松英司  
これを承認可決しました。

・審判規程・審判規程細則の改定の件 (提案者)常務理事 佐藤衛  
審議の結果、本議案は継続審議となりました。

主な意見・質問・答弁は以下の通りです。

質問:帯同審判員の実際の運営の仕方を具体的に説明願いたい。

答弁:帯同審判員がいなくても現在大会運営はできている。しかし3年後を目途に審判員の増員と技量の向上を目指しており、帯同審判員がいなかった場合のペナルティを得る目的のものではない。

質問:罰則の取扱いに関して罰則が適応されるのは誰か?

答弁:ブロックになります。わかりやすく条文を見直します。

意見:ブロックも財源が厳しいので罰則金は無い方が良いと考える。

意見:帯同審判員の狙いと制度をしっかりと説明できるように準備が必要と考える。

意見:地方の審判員の技量の差が多く見受けられるので、審判員の育成に関してももう一度検討していただきたい。

・アスリート委員選挙に関する特措規程の件 (提案者)理事 坂俊甫  
これを承認可決しました。

主な意見は以下の通りです。

意見:他の委員会と比較しても、12名という委員の数は多く感じている。

#### (主な協議事項)

・個人登録制度改定に伴うシステム整備の件 (提案者)常務理事 佐藤衛  
主な協議の経過は以下のとおりです。

意見:将来を見据えたシステムになるように考えていただきたい。

・正会員規程案の件 (提案者)理事 井口加奈子



主な協議の経過は以下のとおりです。

質問: 定款と同内容の重複する条文がいくつか見受けられるが必要か？

答弁: 定款を見返さなくても良いように及び正会員の資格を有することを明確にするため重複する条文を記載している。

質問: 正会員の資格を有しているかの確認方法はないのか？

答弁: 証明は無いのが実態です。

補足: 内閣府より定款に基づき、どのような経緯をもって正会員として選出され資格を有しているかを明確にするように求められている。

意見: 内閣府の指摘にあるように、明確に資格を有していることを明示できるように制度を作らなくてはならないと考える。

答弁: 支部において対応は様々とみられ、一律の条件を求めることは難しいが、一定の条件下での明示をできるようにしたい。

補足: 定款第6条に、理事会の定めるところにより申し込みをしその承認を得なくてはならないと記載されている通り、正会員の承認プロセスを協議いただきたい。

井口: 各支部がどのような状況かを各支部に確認してはどうかと考える。

・理事候補者の選出の件 (提案者) 常務理事 浅井直樹

主な協議の経過は以下のとおりです。

意見: ガバナンスコードに沿ったものを実現するため、次期理事会にかかってくるため次期理事はこれを達成できる方をお願いしたいと考える。

#### (主な報告事項)

・女性委員に関する委員会アンケートについて (提案者) 理事 井口加奈子

・業務報告について (提案者) 専務理事 宮脇信介

・業務報告について (提案者) 常務理事 浅井直樹

以上

### 第18回 令和3年2月28日理事会

#### (会長挨拶要旨)

・本日は総会を控え多くの重要な議案が上程されておりますので、スムーズな進行をしつつも皆様と多くの議論をしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

#### (主な審議事項)

・理事会傍聴申請の件 (提案者) 会長 太田雄貴

これを承認可決しました。

・2021年度(4-8月期)事業計画及び予算(案)承認の件 (提案者)会長 太田雄貴

これを承認可決しました。

・2021年3月総会招集の件 (提案者)会長 太田雄貴

これを承認可決しました。

・登録規程改定の件 (提案者)理事 辻村眞一郎

登録費の変更(値下げ)についてのみ審議することとし、この修正案を承認可決しました。

主な審議の経過は以下のとおりです。

意見:資料には登録会費の区分等構想案を添付しているが、既存会員区分の値下げ案に関して審議願いたい。

・第16回日本スポーツグランプリ候補者推薦の件 (提案者)副会長 末松英司

これを承認可決しました。

・審判規程・審判規程細則の改定の件 (提案者)常務理事 佐藤衛

これを承認可決しました。

・アスリート委員選挙管理委員選出の件 (提案者)理事 坂俊甫

これを承認可決しました。

・男子エペワールドカップ誘致の件 (提案者)会長 太田雄貴

これを承認可決しました。

主な審議の経過は以下のとおりです。

(質問)獲得の成否が判明する時期ならびに、大会実施時期の見通しはあるか。

(答弁)断定することは難しいが、国際フェンシング連盟の判断の目途は2021年6月頃と予想されるとともに、獲得出来た場合に予想される大会実施時期は2022年の2月から3月となる公算が大きいとみている。

・定款変更(監事の任期変更)の件 (提案者)会長 太田雄貴

これを承認可決しました。

主な審議の経過は以下のとおりです。

(質問)交替するタイミングをずらすことで協会運営の安定性に資する狙いは了解するが、いずれ4年の任期に戻す必要がある。

(答弁)一旦3年任期で改選後、4年に定款変更を行うことを前提としている。

・外部理事、女性理事の割合目標設定の件 (提案者)会長 太田雄貴

これを承認可決しました。

・理事候補者の選出規程の改定の件 (提案者)会長 太田雄貴

これを承認可決しました。

理事1名は、本議案に反対する旨を述べました。

理由:定年制や理事の任期については検討必要な事項であり、細則に入れる状況ではない。

・理事候補者管理委員会の委員の件 (提案者)会長 太田雄貴

これを承認可決しました。

・国際競技大会等の代表参加の選定と派遣の件 (提案者) 常務理事 飯田徳光  
これを承認可決しました。

主な審議の経過は以下のとおりです。

(説明) 当面、コロナ禍の影響で大会実施等、不確定要素が大きい。現状において収集できる情報の下での見通しとして示す一方、今後の状況を睨みながら柔軟に対応せざるを得ない。

#### (主な協議事項)

・次期理事候補者の理事会推薦決定プロセスの件 (提案者) 会長 太田雄貴

主な協議の経過は以下のとおりです。

(説明) 規定に則り、7人の理事会推薦理事候補者の決定プロセスについて確認する。

・理事改選にあたっての理事会見解の件 (提案者) 会長 太田雄貴

主な協議の経過は以下のとおりです。

(説明) 当協会の現状に鑑み、理事についてもある程度実務や執行を担わざるを得ない側面があることも承知している。その様な意見も反映させながら理事の機能や役割、求められる思考・行動様式等について調整していきたい。

・世界ジュニア・カデ選手権派遣の件 (提案者) 会長 太田雄貴

主な協議の経過は以下のとおりです。

(要旨) 本議案については、様々な意見が出されたが、派遣準備のために早急に方向性を示す必要があることから、1週間程度を目処として意見を集約し常務理事会において一定の方向を決定することとなった。

#### (主な報告事項)

・2021年度 NAVI 事業選手選考について (提案者) 理事 山口徹

・国民スポーツ大会・全日本選手権大会団体について (提案者) 副会長 末松英司

・業務報告について (提案者) 常務理事 飯田徳光

・業務報告について (提案者) 常務理事 佐藤衛

以上

## 第 19 回 令和 3 年 3 月 28 日理事会

### (会長挨拶要旨)

・今次総会をもちまして、次年度の事業計画と予算が承認されましたので、また次の新しいフェンシング界に向けてしっかりとやっていきたいと思えます。また、6月に予定されます総会は選挙の内容を含む総会になりますので、またここから次のステージに進んでいくものと思えます。新しい体制で日本のフェンシングの推進していくこととなります。よろしくお願いいたします。

### (主な審議事項)

- ・理事会傍聴申請の件 (提案者)会長 太田雄貴  
これを承認可決しました。
- ・理事会傍聴申請の件 (提案者)理事 坂俊甫  
これを承認可決しました。
- ・理事会傍聴の件 (提案者)常務理事 佐藤衛  
これを承認可決しました。
- ・次期理事候補者の理事会推薦の決定プロセスの件 (提案者)会長 太田雄貴  
これを承認可決しました。
- ・理事改選にあたっての理事会見解の件 (提案者)常務理事 浅井直樹  
これを承認可決しました。

主な審議の経過は以下のとおりです。

質問:ガバナンスコードでは、どの程度の理事の要件が求められているのか?

回答:ガバナンスコードでは、理事の要件などが直接示されているわけではない。構成として偏らないようになどは示されているが、個々に対しては記されているわけではない。

### (主な報告事項)

- ・Tokyo2020 対策委員会について (提案者)副会長 齊田守
  - ・倫理委員会委員辞退に伴う後任選考について(提案者)理事 高橋英一
  - ・第 28 回 JOC ジュニアフェンシングカップ大会決算について (提案者)理事 辻村眞一郎
- 以上